

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 3 月 23 日

事業名称		栄養指導事業費 [栄養指導事業（食育推進事業 母子・成人）]									
予算科目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費	事業番号	5
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	健康課保健係								課長名	志村明子	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	2 - 1	
【施策名】 保健医療の充実									総合計画書(ページ)	47	
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 A：未成年対象→小学4年生から中学生 B：成人対象→20歳以上の市内在住在勤の方					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ①人口 A、B(在住者のみ) ②教室定員数(未成年対象：20人×2回、成人対象：20人×2回)					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 小学4年生から中学生や市内在住在勤の方が食に関する関心、及び理解を深め、食を選択する力を養い、生涯にわたり心身の健康を確保できるようにする。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 参加人数					
	③ そのために何をしましたか。 ①地場産物を使い、郷土食や行事食の継承につながる講話や調理実習の実施(成人対象は保育付)②対象者に合わせたテーマや時期に合わせたテーマの講話や調理実習の実施(成人対象は保育付)					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 実施回数 ①地場産物、郷土食行事食の調理実習・講話 ②対象者や時期に合わせたテーマについて調理実習・講話					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	①A3,879 B70,295 ②A40 B40	①A3,909 B70,340 ②A40 B40	①A3,902 B70,187 ②A40 B40					
	成果指標	②の数値	人	A19人 B27人	A29人 B30人	A6人 B34人					
	目 標	②の目標値	人	80	80	80					
		目標値設定の考え方 教室の定員を満たす									
活動指標	③の数値	回	①1回 ②3回	①2回 ②2回	①1回 ②2回						
3 経費	事業費(実績)		円	1,233,195	1,269,387	710,129		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	590,000	669,387	597,129					
		特定財源	円	643,195	600,000	113,000					
	(うち受益者負担)		円	0							
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	8,253,000	8,244,000	8,310,000					
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	9,486,195	9,513,387	9,020,129						
4 環境変化等	(1) 開始年度	19 年度									
	(2) 環境の変化	食育推進事業は、平成17年度制定された食育基本法第21条の規定に基づき、地域の特性を生かした具体的な事業を行うことにより、食に関する関心及び理解を深め、食を選択する力を養い、生涯にわたり心身の健康を確保することを目的とする。なお当市では食育基本法制定を受け、平成17年度、食位区推進ネットワーク会議を立ち上げ、また平成22年度「東大和市食育ガイドライン」を策定し、さらに平成27年度当ガイドラインの改訂版を作成し、食育推進の方向性を示した。									

事業名称	栄養指導事業費 [栄養指導事業 (食育推進事業 母子・成人)]			
担当部署・課長名	健康	課	保健	係 課長名 志村明子

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	<参加者からの感想>調理実習がやりやすく、楽しかった。家でも作ってみたい。色々な郷土の食材を発見することができよかった。東大和市産の食材を使ったレシピを是非知りたい。保育付を続けて欲しい。(教室実施後アンケート)			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法:		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3))を転記)			
	①参加者を増やす。 ②子供達が安全に事業に参加できる。 ③成人対象の教室においては、メニューだけでなくテーマについても意見を取り入れる。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	①周知する場所を小中学校、市内公共施設に加え、児童館、学童等にも広げた。 ②調理工程で大人の目が行き渡らない箇所ができないよう、事前計画の立案による安全への配慮を十分行った。 ③事後アンケートで取り上げて欲しいメニューやテーマについて意見を聴取した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)			
①参加者を増やす。 ②子供達が安全に事業に参加できる。 ③成人対象の教室においては、参加者の興味・関心に合わせた内容を企画する。				
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名: 保健医療の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名:)				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】			
	参加者のニーズを捉え、魅力ある内容構成を企画し事業を提供していく。特に成人対象の事業においては取り上げてほしい料理やテーマについてアンケート調査等により意見を聴取する。小中学生対象の事業においては、子供達の能力に見合った内容とし、常にスタッフの目が届く人員配置など事業を構成し、提供していく。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
特になし				